

# ときめき人

Tokimeki bito



## 全国青年大会で優勝 不屈の精神で挑戦

米山町・中新田

### 岩渕 有座さん

いわぶち・ゆうざ  
1993年生まれ 血液型/O型

#### Profile

170 ㎝、88 ㎏。得意技は内股と背負投。日本体育大学卒。現在は中田中学校の保健体育の講師で、柔道部の顧問を勤める。祖母、両親、妻、子の6人家族。妻も柔道経験者。好きな食べ物は、焼き肉、すし、ラーメン。

「昨年は準決勝にも行けずに涙をのんだ。優勝できてうれしい」と喜びの表情を見せた。

第65回全国青年大会は2016年11月11日から14日まで、東京都で開かれ、柔道個人戦で自身初の優勝を果たした。

「前回大会では、準決勝にも進めずに敗退。負けたまま諦めたくなかったから」と負けん気の強さをのぞかせる。

柔道を始めたのは、小学2年の頃、父に連れられて道場に行ったことがきっかけ。迫力ある投げ技に「カッコいい」と思った。初めて出場した大会では団体戦で優勝した。しかし、決勝で自分だけが負けた。「悔しくて大泣きした」とその気持ちが柔道を続ける要因になったと語る。

中・高・大と柔道部に所属し、全国中学校体育大会やインターハイなどに出場した経験を持つ。

岩渕さんは「今の自分があるのはライバルがいたから」と振り返る。小中時代に県内で勝てない相手があった。その選手は全小で優勝するなど、全国トップレベルの実力の持ち主。「最後の中総体までに勝つ」と自分を信じ諦めず練習に励んだ。部活動だけではなく、自主練習にも取り組んだ。努力が実り、最後の中総体で勝つことができた。

今後の目標は、国体と日本柔道界最大の大会である全日本柔道選手権に出場すること。昨年は、国体県予選の決勝で負けた。「時間がないのはみんな同じ。自分を信じて続けるだけ」と不屈の精神で高みを目指す。

## 編集後記

▼震災から6年。あの時のことは一生忘れられない。昨年は、熊本や岩手などでも忘れられない大災害が発生した。「風化させてはならない」。口で言うのは簡単だが、当事者である自分たちでさえも忘れそうになることが。嫌なことでも忘れてはいけないものがある。(及川)

▼広報と共に、登米市の魅力を紹介する市勢要覧を編集。取材でお話を伺った皆さんに快く受けていただき、改めて登米市民の人柄の良さに癒されました。また全国的にも最高ランクの登米産牛。ぜひ今年の全国和牛能力共進会で最高賞を受賞し、知名度アップを願っています。(千葉)

▼広報紙を編集していると、ふと「これでいいのか」という思いにかられます。皆さんに分かりやすいようにと心がけているつもりですが、言われないと気付かないこともあります。まだまだ力不足。毎日もがいて広報紙の編集に取り組んでいます。(田代)



モバイルとめ  
(携帯電話版ホームページ)  
<http://www.city.tome.miyagi.jp/>



登米市メール配信サービス  
(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)  
<http://tomecity.mail-dpt.jp/>

